



神奈中情報通信

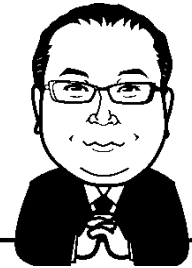


(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆「志望動機は？」「わかりません」◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、今回はちょっと年寄りじみた内容になってしまいますが、面接を通じて、最近の若者について感じた素直な気持ちを書きたいと思います。

今、2024年3月卒予定の学生の面接をしています。企業説明会に参加してくれた学生のうち希望者が1次面接へ。1次は課長が担当し、1次を通過した学生が2次面接に進み、そこで役員と部長による面接を行います。その面接官のひとりが私なのですが、40歳も年の離れた子たちを面接する中で、驚くことが多くあります。

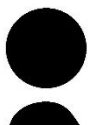
※以下の内容は実際にあったお話ですが、全ての学生がそうだったというわけではないことを、先にお伝えしておきます。

まず、面接の部屋に入ってきたときの第一印象。男子学生の8割くらいが該当するのですが、後ろの髪の毛がはねています。コロナ禍でオンラインに慣れてしまっているためか、正面から見た髪の毛はちゃんとしているのですが、後ろが……。

次に靴下。こちらも男子学生。履いている靴下がビジネスソックスではなく、カジュアルなもので、色は紺色ですが、くるぶしまでしかない短いソックスなのです。目の前の椅子に座り、ズボンの裾が上がったときに毛むくじゃらが見え、たしかに、オンラインであれば上半身だけ気をつけていればよいのですが、ここはリアル面接会場。聞けば、コロナ禍では学校で面接の練習をすることもなかったようで、仕方ないのかも知れませんが、いきなり驚かされました。



そして、面接の受け答えでもびっくりすることが多発していました。以下、実際にあった複数の学生とのやり取りです。



私「自己PRとして、あなたが当社に訴えたい、自分にはこんな長所があるんだというものを教えてください」（2枚目へ→）

(続き→) Aさん「私、特長がないんです」私「…………。」

私「(上と同じ質問)」 Bさん「リーダーシップが取れます」私「友達とかチームで遊んだりすることがよくあるのですか？」 Bさん「私、友達いないんで。チームとかないです」私「…………。(いったい何に対してのリーダーシップだろうか?)」

私「あなたが心を許せる友達って何人くらいいますか？」 Cさん「そんな友人いません」私「…………。」

私「(上と同じ質問)」 Dさん「10人以上います」私「10人以上ってすごいねえ。どこにいるの？」 Dさん「ネット上です」私「…………。(それが今どきの友人関係というやつなのか)」

私「趣味や特技は何ですか？」 Eさん「両方ありません」私「…………。」

私「志望動機を教えてください」 Fさん「わかりません」私「いや、でもここに来ているということは何かあるでしょ？」 Fさん「いや、なんとなく」私「…………。」

全て実話です。コロナ禍で学生生活を送った今の子どもたちは、良く言えばとても正直なのだと思います。また、時代が時代ということもあって、もしかしたら、学校などで怒られたことがないのかもしれませんが。だから、何を言っちゃいけないとか、そういった思考にならないのかもしれませんが。自分が年を取っただけなのか、これが今の時代の常識なのか、ちょっと日本の行く末が心配になりました。

◆発行者コラム◆

40年前、私が学生の頃はどうかっただろうか？と振り返ってみました。当時は、クラブ活動(少林寺拳法)が優先で、就活らしきものをしたのは卒業間際。しかも、私はスーツではなく学ラン。頭はパンチパーマでヒゲを生やし、眉毛は細く短く斜めになっており、今思えば、私を見た当時の面接官たちも「今の若い奴は」と困惑していたかもしれません。後ろの髪がはねるくらい、かわいいものですね。大森

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

 株式会社
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム



大森



米山